

第4学年3組 学級活動(3) 学習指導案

実施期間 令和 年〇月～令和 年〇月
 指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

「どうして勉強するのかな～将来の夢と勉強はどうつながっているのだろう～」
 (ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用)

子ども終了後の姿	将来の夢(なりたい自分)の実現と毎日の勉強は、どのようにつながっているのかと考える活動を通して、各教科等の学ぶ意義を理解し、主体的に学習に取り組むことができるようになる。 今の自分(学び方や学ぶ態度)を振り返り、意思決定したことを実践し続けることを通して、自分のよさや、興味・関心など、多面的・多角的に自己理解を深めるとともに、なりたい自分への自己実現を目指している。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもつことができる。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自己のよさを生かしながら実践することができる。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かしながら、主体的に行動しようとしている。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 一人一人さまざまな将来の夢があることを知ることで、それぞれの夢のよさがあることや、一人一人のよさが生かされていることに気付くことにより、自己肯定感を高めた上で学習課題に取り組めるようにする。 【振り返り】 これまでの自分の学び方や学ぶ態度を振り返り、4月に作成していた「キャリア・パスポート」(タブレットにデータ保存)に新たな行動目標を追記することで、これまでの自分からこれからの自分へと先に進む方法として、自己実現に向かう態度の育成を目指す。 【対話】 将来の夢と勉強とのつながりを考えイメージマップに記入し、グループで共有して互いにアドバイスし合い、自分の考えを広げ深めていくことができるようにする。		
子どもの実態 30人	全員が、将来の夢として具体的な職業を挙げている。8割程の児童が、勉強することは将来のため、夢をかなえるためだと思っているが、何がどのように関連しているのかと、具体的に捉えている児童はほとんどいない。	「キャリア・パスポート」に、この1年間でつきたい力として、教科(授業)の目標を立てているが、どのように行動するのかと、具体的な行動目標を立てている児童は少なく、3割程である。	「キャリア・パスポート」に記入しためあての達成を目指そうと行動している児童はほとんどいない。勉強することへのマイナスイメージを抱いている児童が3割程いる。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
将来の夢をかなえることと、現在の学習(様々な教科)との関わりについて理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己のよさを生かし、将来とのつながりを意識して、学び方や行動について、これからどうしていきたいか、意思決定している。	夢をかなえるために意思決定しためあてに取り組む中で、これからの自分を意識し、継続して取り組もうとしている。

指導と評価の計画（2時間取り扱い 本時 1 / 2）				
課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
て、「なりたい自分」に向けて、今できるめあてを決めて取り組もう。	事前	4月 日 学級活動	○4年生「キャリア・パスポート」を作成する。	【思】 観察、 「キャリア・パスポート」
	本時	6月 日 学級活動	夢の実現へ向けた、日常での学習のめあてを決める。	【知】 観察、ワークシート 【思】 ワークシート
	事後	7月、12月、 3月 随時	○めあてを継続的に実践し、学期ごとに振り返りを行う。	【主】 観察、 「キャリア・パスポート」

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

現在勉強していることが、将来の夢の実現につながることに理解し、これからの学習の仕方を決めることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	教師の支援 評価	備考 ・ICT機器等	
つかむ	5	1 自分の将来の夢について想起する。	○みんなは、どんな夢をもっているのかな。 ・～（職業）になりたい。 ・みんないろいろな夢があるな。	○なりたい職業、理想の大人像、どの児童の夢も肯定的に受け止める。	・一人一人の夢を提示する画像 ・電子黒板	
さぐる	20	どうして勉強するのか？ 将来の夢と勉強は、どうつながっているのだろうか？				
		2 夢をかなえるためには、どうして勉強することが大切かを考える。 (1) 例に挙げた夢の実現には、どのような教科が関連しているのかを全体で考える。 (2) 自分の夢の実現と教科との関連を考える。 (3) 班で伝え合う。	○夢をかなえるためには、勉強している教科の、どのようなことが必要かな。 ・世界の選手と話すためには英語も必要だね。 ・たくさんの人と話すことも大切だから国語かな。 ○自分の夢とつながる教科を考えよう。 ○友達の夢に対して前向きなアドバイスをしよう。	○水泳選手を例に挙げ、様々な教科での学習内容が関連していることが理解できるようにする。 ○今の学びと将来の夢とのつながりを意識することで、自分の課題に気付けるようにする。	・イメージマップ	
見つける	10	3 これまでの自分の学び方を振り返って気付いたことを発表し合う。	○今の自分をみつめて、これからどうしたらいいか考えよう。 ・得意でない勉強もがんばっていこう。	【知】 将来の夢の実現と学習との関わりを理解している。		
決める	10	4 なりたい自分に向けて、これからどのようにがんばりたいか、めあてを意思決定する。 5 友達と、互いにがんばりたいことを伝え合う。	○学習（教科）の何を、どのように学習していくのか、めあてを決めて「キャリア・パスポート」に書き加えましょう。 ・人に役立つロボットを作りたいから、算数の問題を自分で解決できるようになりたい。	【思】 話し合ったことを生かして、具体的な学習のめあてを書いている。 ○この先夢が変わっても、勉強していることは、新しい夢にもつながることにふれ、学習への意欲を高める。	・タブレット（「キャリア・パスポート」授業支援アプリ）	

特別活動

第4学年〇組 学級活動(3) 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月～令和〇年〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

「どうして勉強するのか～将来の夢と勉強はどうつながっているのだろう～」
(ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用)

題材の目標及び手立て

学級活動(3)においては、指導及び実践が、現在及び将来の生き方を考える基盤であることに留意しながら述べる。

い自分への自己実現を目指している。

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	①働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもつことができる。	①自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自己のよさを生かしながら実践することができる。	①現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かしながら、主体的に行動しようとしている。
目標に向かうための手立て	<p>〇「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 一人一人さまざまな将来の夢があることを知ることで、それぞれの夢のよさがあることや、一人一人のよさが生かされていることに気付くことにより、自己肯定感を高めた上で学習課題に取り組めるようにする。</p> <p>【振り返り】 これまでの自分の学び方や学ぶ態度を振り返り、4月に作成していた「キャリア・パスポート」(タブレットのメタモジにデータ保存)に新たな行動目標を追記することで、これまでの自分からこれからの自分へと先に進む方法として、自己実現に向かう態度の育成を目指す。</p> <p>【対話】 将来の夢と勉強とのつながりを考えイメージマップに記入し、グループで共有して互いにアドバイスし合い、自分の考えを広げ深めていくことができるようにする。</p>		

子どもの実態	30人
①全員が、将来の夢として具体的な職業を挙げている。8割程の児童が、勉強することは将来のため、夢をかなえるためだと思っているが、何がどのように関連しているのかと、具体的に捉えている児童はほとんどいない。	①「キャリア・パスポート」に、この1年間でつけた力として、教科(授業)の目標を立てているが、どのように行動するのかと、具体的な行動目標を立てている児童は少なく、3割程だった。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①将来の夢をかなえることと、現在の学習(様々な教科)との関わりについて理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	①自己のよさを生かし、将来とのつながりを意識して、学び方や行動について、これからどうしていきたいか、意思決定している。	①夢をかなえるために意思決定しためあてに取り組む中で、これからの自分を意識し、継続して取り組もうとしている。

ポイント

ポイント

学習過程
つかむ→さぐる→見つける→決める

課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
て取り組もう。 て、今できるめあてを決めて	事前	4月〇日 学級活動	〇4年生「キャリア・パスポート」を作成する。	【思】①観察、「キャリア・パスポート」
	本時	6月〇日 学級活動	●夢の実現へ向けた、日常での学習のめあてを決める。	【知】①観察、ワークシート 【思】①ワークシート
	事後	7月、12月、3月 随時	〇めあてを継続的に実践し、学期ごとに振り返りを行う。	【主】①観察、「キャリア・パスポート」

ポイント

2 本時の授業計画

- (1) 本時現在の仕方
- (2) 展開

指導と評価の計画

本時の学習と自己実践のつながり、指導者の評価による更なる実践へ向かう意欲の向上等を考慮して計画を立てる。

過程	時間	学習活動	評価	評価
つかむ	5	1 自分の将来の夢について想起する。	○みんなは、どんな夢を持っているのかな。 ～(職業)になりたい。 ・みんないろいろな夢があるな。	○評語 ○なりたい職業、理想の大人像、どの児童の夢も肯定的に受け止める。 ・一人一人の夢を提示する画像 ・電子黒板
さぐる	20	2 夢をかなえるためには、どうして勉強することが大切かを考える。 (1) 例に挙げた夢の実現には、どのような教科が関連しているのかを全体で考える。 (2) 自分の夢の実現と教科との関連を考える。 (3) 班で伝え合う。	○夢をかなえるためには、勉強している教科の、どのようなことが必要かな。 ・世界の選手と話すためには英語も必要だね。 ・たくさん人と話すことも大切だから国語かな ○自分の考え ○友達とのアド	○イメージマップ ○水泳選手を例に挙げ、様々な教科での学習内容が関連していることが理解できるようにする。 ・イメージマップ
見つける	10	3 これまでの自分の学び方を振り返って気付いたことを発表し合う。	○今の自分をみつめて、これからどうしたらいいか考えよう。 ・得意でない勉強もがんばっていいこう。	◎【知】将来の夢の実現と学習との関わりを理解している。
決める	10	4 なりたい自分に向けて、これからどのようにがんばりたいか、めあてを意思決定する。 5 友達と、互いにがんばりたいことを伝え合う。	○学習(教科)の何を、どのように学習していくのか、めあてを決めて「キャリア・パスポート」に書き加えよう。 ・人に役立つロボットを作りたいから、算数の問題を自分で解決できるようにしたい。	◎【思】話し合ったことを生かして、具体的な学習のめあてを書いている。 ○この児童が夢をかなえても、勉強していることは、新しい夢にもつながることふれ、学習への意欲を高める。

本時の評価
「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

ポイント